

とやま

県広報とやま

2001

2月号

No.381

富山県

特集 知事対談 新世紀の地域づくり



ハウス栽培で育てたサクラソウの出荷準備に忙しい大沢野町の石黒さん夫妻(中央の二人)。研修生とパートの方と一緒に。



環境科学センター

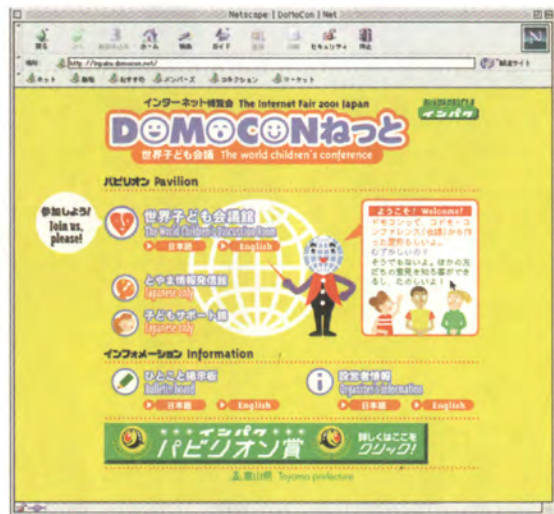
工業技術センター生活工学研究所

●問合せ 環境科学センター
0766(50)20000
工業技術センター生活工学研究所
0763(50)2141

■両研究機関は、環境問題への具体的な対応のひとつとして、平成十一年度に取得を宣言。ISOの認証取得に向けた取り組みを開始しました。所内のすべての活動について環境影響評価を実施し、省エネや廃棄物の削減のためのマニュアルづくりや所員の意識改革などを進めてきました。

■今後、両研究機関では、ISO取得の過程で得たノウハウを生かし、認証取得を希望する県内企業や市町村を支援していく意向を述べています。

■「世界子ども会議」では、「自分のこ



12月 31日

インターネットでつながる子どもたちの夢

■国が主催するインターネット博覧会(略称:インパク)が十二月三十一日に始まりました。富山県は「世界子ども会議」を出展。世界の子ともたちが夢や意見を語り合える場を提供しています。

■インパクは国の新千年紀記念事業です。二〇〇一年末まで民間企業や自治体などがインターネット上の仮想空間に、二百を超えるパビリオン(ウェブサイトを)開設しています。

■富山県のパビリオン「世界子ども会議」(愛称:DOMOCONねっと)は、子どもたちのためのページ。かわいいイラストを使った親しみやすい作りになっています。

と「友達のこ」「地球のこ」「平和な世界のこと」などに関する発言を誰でも自由に見たり書き込んだりできます。また、英語版の掲示板も設け、世界中の子ともたちから自由な意見や夢を募集しています。

■このほか、「社会に学ぶ十四歳の挑戦」など、本県が取り組んでいるユニークな事業について紹介するページや、子どもに関する様々なサイト情報を集めたリンク集も用意されています。

URLは
<http://inpaku.domocn.net>
県のホームページからもアクセスできます。

●問合せ 県庁企画調整課
076(44)3114

2000年国勢調査(平成12年10月1日実施)の速報集計結果

富山県の人口 1,120,843人 ■本県の人口は1,120,843人で、前回の国勢調査(平成7年)と比較して、2,282人(△0.2%)の減少となりました。

富山県の世帯数 357,536世帯



区分	平成12年(A) <速報値>	平成7年(B) <確報値>	増減(C) (A)-(B)	増減率(%) (C)/(B)
人口総数(人)	1,120,843	1,123,125	△2,282	△0.2
男	540,140	540,921	△781	△0.1
女	580,703	582,204	△1,501	△0.3
世帯数(世帯)	357,536	337,290	20,246	6.0
1世帯当たり人員	3.13	3.33	△0.20	△0.1

※人口および世帯数は、国における調査票の審査を経て確定され、今年10月に確報として官報で公示されます。

●問合せ 県庁統計課 ☎076(44)3192

日本海側初の国際機関 NOWPAP本部事務局を富山県と 韓国釜山に共同設置

12月 6日

■NOWPAP(北西太平洋地域海行動計画)の本部事務局が富山県と韓国・釜山に共同設置される運びとなりました。昨年十二月に東京で開かれた第六回政府間会合において合意されたもので、日本海側で初めての国際機関となります。

■NOWPAPは、国連環境計画の提唱に基づき、日本海および

と「友達のこ」「地球のこ」「平和な世界のこと」などに関する発言を誰でも自由に見たり書き込んだりできます。また、英語版の掲示板も設け、世界中の子ともたちから自由な意見や夢を募集しています。

■ナホトカ号油流出事故に代表されるように、日本海は環境変化が、私たちの生活に大きな影響を及ぼします。日本海から様々な恩恵を受けている本県にとって、NOWPAPの活動は今後ますます重要になってきます。また、国際機関が設置されることにより、富山の国際的な認知度が高まり、国際都市への新たなステップにつながるものと期待されます。

●問合せ 県庁日本海政策課
076(44)9611

国連環境計画が提唱する地域海行動計画 現在、世界の14の海域で計画を策定済み、または策定中です。



県の2研究機関が ISO14001の認証取得

12月 20日

■環境対策に取り組む企業や自治体などに与えられる国際規格「ISO14001」の認証を県の環境科学センター(小杉町)と工業技術センター生活工学研究所(福野町)が取得しました。県内の行政機関の取得は初めてです。

■ISO14001は、ISO(国際標準化機構)が定めた経営手法に関する規格で、環境への影響を減らし、その活動を持続的に改善するシステムづくりを求めて

TOPICS [トピックス] 1

特集

知事対談
新世紀の地域づくり 3

CLOSE UP [クローズアップ]
北陸新幹線がやって来る
—長野・富山間のフル規格整備決定— 7

とやま感動案内
らいちょうパレースキー場 9

とやまのやる気・元気
夫婦で花苗のハウス栽培に取り組む
石黒宏明さん・笑子さん 11

インフォメーション 12

県政ミニガイド 13

行ってみよう情報 14

とやま音のある風景
匠の里の焼き物の冷える音 15



昭和57年、全国初の世界演劇祭として開催された「利賀フェスティバル」。以来、多くの演劇ファンが利賀村に足を運んでいる。

京化をめざしてきた時代がありました。しかし、これからは、各地域は個性をいかに生かすか、創り出していくかということが重要な時代になってくると思います。そして、地域住民の皆さんが、住みたい、住み続けたいといった誇りを持てる街づくり、地域づくりの方向をめざすべきと考えています。

知事 富山県には、ナンバーワン(日本一、トップクラスのもの)がたくさんあります。高校進学率や人口当たりの文化会館・博物館数、持ち家率や一住宅当たりの住宅延べ面積、道路整備率、世界的な製品を製造する産業など、挙げればきりがありません。

その一方で、富山県にしかないもの、いわゆるオンリーワンもたくさんあります。立山連峰、黒部峡谷の世界的な山岳景観、ホタルイカ・シロエビなどの食文化、演劇・越中おわら節などの芸術・

伝統文化、砺波平野の散居村、配置家庭菜や深層水を使った新しい産業などです。また、オンリーワンと言えば、富山県民の積極進取の県民性は、大変すばらしいと思っています。

これからは、富山県の優れた魅力を国内外に向けて発信し、多彩なオンリーワンづくりをめざしていかなければならないと思っています。

地域づくりは県民一人ひとりが主役

司会 富山の魅力をいかにして地域づくりに生かしていくかということが大事ですね。

長尾 富山県には、他県より優れた魅力や優位性の資源がたくさんあると思います。私の所属する富山国際大学では、そのような魅力的な資源を有効活用できる人材を県内に輩出するため、昨年四月に地域学部を創設しました。

従来の学習スタイルは、経営は経営、情報は情報というように、個別に勉強していましたが、地域学部では、産業経営系、情報系、人間環境系の三つの体系を総合的に関連付けて学習できるようにしています。地域にはいろいろな問題が存在しており、学生たちがそれらを具体的に解決できる力をつけられるように努めています。

牧田 今日の富山を形づくってきた背景には「過酷な自然」があり、富山の発

展の歴史は、その「過酷な自然」に対する挑戦の歴史だったと言えます。厳しい条件のなかでの地域発展のために、先人たちは、新しいものを創りあげなければならぬという使命のもと、長い年月をかけて富山の発展に尽力されてこられました。その結果、売薬、アルミ、電源開発などの産業が発達しました。

しかし、これからの時代は、「過酷な自然」を「豊かな自然」というとらえ方に転換し、「豊かな自然」を材料にした経済発展を進めていくことが大事になってくるでしょう。いわゆる自然との共生ですね。例えば、バイオテクノロジーは富山にとって有利な分野になると思います。

竹嶋 街づくりにかわるようになって一番感じていることは、いろいろな分野で富山には、おもしろい人がたくさんいるということです。そしてみんなは、何かきっかけを待っているのではないかと思います。フリークポケットは、単なるきっかけであって、出店してきた人たちが街をおもしろくしていきました。みんなは、得意分野を商売という形で表していますが、自分の得意なことを生かしていくことができれば、富山はもっと魅力的に、おもしろくなっていくと思います。

知事 私は、地域づくりの主人公は県民であると思っています。県民の皆さんが知恵も汗も出し、頑張るといのが基本であると考えています。そ



山田村では、希望する全家庭にパソコンを貸与。各家庭では子どもたちが先生に。

う意味で富山にもすばらしい事例がたくさんあります。

例えば、利賀村は、山村のへき地でしたが、演劇を通じて、「世界の利賀」として一躍有名になりました。また、山田村は、村の各家庭にパソコンを配って「電脳山田村」として国内外に有名になりました。いろいろな団体、組織、企業も県民の皆さんが力を発揮できる場所です。皆さんの活躍を期待しています。

牧田 私も県民一人ひとりがどういう意識をもって地域づくりに取り組むかということだと思っています。「富山はこうあるべきだ」ではなく、「自分たちの富山はこうあってほしい」という思いがすべてのスタートになると思います。私の所属する青年会議所では、三年前から富山の近未来について考えていますが、その根底には、「自分たちの十年後はこうありたいね」との思いがあります。



新世紀の地域づくり

- 出席者
- 長尾治明さん
富山国際大学地域学部教授
 - 牧田和樹さん
日本青年会議所建設部会
越の国建設クラブ会長
 - 竹嶋身和子さん
ミニ・チャレンジショップ
「フリーポケット」運営委員
 - 中沖 豊
富山県知事

西暦二〇〇一年、いよいよ二十一世紀がスタートしました。富山県の二十一世紀が輝かしいものとなるためには、何よりも県民の皆さんが明るく元気に活躍し、その活力を生かして、魅力ある地域づくりを進めることが大切です。今回は、「新世紀の地域づくり」をテーマに、関係の皆さんをお迎えして、中沖知事と語り合っていました。

オンリーワンの地域づくり

司会 いよいよ二十一世紀を迎えましたが、これからの地域づくりは何がポイントになるのか聞かせてください。

知事 現在は、大変な激動期、転換期です。そして、少子高齢化、高度情報化、国際化という大きな波が押し寄せてきています。こういう時期には、地域づくりについても、明確なビジョンを持ち、そのビジョンを着実に実行していくことが大事です。

また、二十一世紀は、地方分権の時代です。私は、地方に権限が集中するという意味で「地方集権」と言っています。これからは、地方が自らの責任で自

ら決定することになってきます。地方は、自分の責任で魅力ある地域づくりを進めていかなければなりません。

さらに、IT(情報通信技術)の進展により、情報が氾濫する時代になりますので、魅力ある情報を発信することが大事になってくると思っています。これからは、独自性を生かして、そこでしかできない地域づくり、顔づくりを進めること、つまり「オンリーワンの地域づくり」を進めていくことが大事だと考えています。

長尾 私も同感です。これまで地方は、一般的に横並び意識が強かったと思います。東京をモデルとするミニ東



富山県知事 中 沖 豊

街に新しい風を起こしたフリークポケット

司会 フリークポケットが現在に至るまでには、いろいろ苦労があったと思いますが…。

竹嶋 私自身はぜんぜん苦労していません(笑)、苦労したのは出店者のみんなです。



富山市中央通りの「フリークポケット」。中には、若い店主の個性的な店が並んでいる。

フリークポケット
富山市中央通りの活性化を図るため、「ミニ・チャレンジショップ運営協議会」(運営:(株)まちづくりとやま)が立ち上げた店舗で、素人の若い起業家がプロの商店主として育成し、中央通り商店街に独立開業させるのがねらい。平成九年七月のオープン以来、四十七店が入店し、そのうち三十店が独立している。



障害を乗り越えて競い合った「きらりんびつ富山」。後夜祭では、選手たちとボランティア、スタッフが一緒に感動を分かちあった。

イベントを自分たちだけでは当然成し得なかつたでしょう。多くのボランティアのサポートがあったからこそ大成功



ながお 長尾 治明さん(岐阜県出身)
平成2年に富山国際大学の講師として迎えられ、昨年4月、同大の地域学部創設とともに教授に。全国的にもユニークな「地域学部」の創設に中心的な役割を果たす。マーケティング、流通問題などの総合的な「街づくり」を研究テーマとし、中小企業対策に取り組んでいる。



まきた 牧田 和樹さん(新湊市出身)
社団法人日本青年会議所の富山ブロック協議会や北陸信越地区協議会の会長を務めるなど、そのリーダーシップと行動力は高く評価されている。現在は、建設会社を営むかたわら、同会議所建設部会の越の国建設クラブ会長として様々な分野での地域づくりに取り組んでいる。

これからは広域連携が大切

長尾 人と人との連携も大切ですが、これからは地域と地域との連携も重要なポイントになってくるでしょう。私自身、北陸の地域づくり戦略の一環として、「北アルプスゴールドルート連携推進事業」にかかわっています。北アルプス一帯で、生活する人、訪れる人が新たな発見、喜びを得られるような地域づくりをめざしています。

知事 道路が整備され、交通も大変便利になってきましたので、県や市町村では、広域行政、広域連携を進めることが大事になってくると思っています。今ほどの「北アルプスゴールドルート整備構想」のほか、「日本の心のふるさとゾーン整備構想」、「北陸三県広域観光」などに積極的に取り組んでいるところですね。



たけしま 竹嶋 身子和子さん(富山市出身)
実家のある富山市中央通りににぎわいを取り戻したいとの思いから、妹の章江さんと一緒に、空き店舗を利用したミニ・チャレンジショップ「フリークポケット」を立案。運営委員として若手起業家の出店に協力するなど、商店街の活性化に取り組んでいる。

竹嶋 この人に言ってもどうせ駄目だろうとか最初からあきらめてしまおうとは思っていません。年齢が離れていても話し合えば共通する部分が見つかりあります。地域ぐるみとか近所付き合いみたいなところで、今まで大切にしてきたものは同じだと思うので、まず話し合ってみることが大切です。

味方は近くにいます。私の場合も妹とか近所のおじさん、おばさんたちに支えられ、また、新しく入ってきた出店者の仲間がいたからこそ、ここまでやってこれたのだと思います。

牧田 私も仲間づくりだと思います。一人では不安でも、一緒にやっていると仲間がいれば、ボンと軽く背中を押してもらえるところもあります。そういう意味で、いかに多くの仲間をつくるかということでしょう。青年会議所は世界中にいろんなネットワークを持っていて、そのネットワークを通じて仲間を集い、様々な事業を展開しています。仲間のネットワーク、仲間の連帯感が大切です。

※北アルプスゴールドルート構想
富山(高山)・松本(糸魚川)・富山の北アルプスを囲むように走るこのルート沿いは、プリ街道で代表される歴史的なつながりに加え、豊かな自然に恵まれている。関係四県が連携して幹線道路網の整備を促進し、工業や観光など地域産業の活性化や地域振興を図ろうとするもの。

※日本の心のふるさとゾーン整備構想
飛越地域(富山県南部地域と岐阜県飛越地域)、飛騨街道や神通川、庄川で結ばれ、古くから交流や交易が盛んな地域。日本の原風景が今でも残るこの地域を「日本の心のふるさとゾーン」に位置付け、歴史、文化、風土、自然などを大切に保存しながら、相互に交流、連携し、地域全体の魅力向上を図ろうとするもの。

富山県が大きく飛躍するためには

司会 最後にありますが、ふるさと富山の未来のために、みなさん自身がどのように取り組んでいこうとお考えなのか、今後の展望を聞かせてください。

牧田 広い視野(グローバル)で考えて、ローカルに行動するという、「グローバル」という言葉がありますが、青年会議所では、それを進め、さらにネットワークを広げていきたい。そして富山県が、富山という一地域だけでなく、世界的にも貢献できるようなお手伝いをしていきたいと思っています。

竹嶋 フリークポケットの原点は、香港の雑居ビルを見てきたことだったんです。これからも広い視野で物事を見て、富山の良いところ、日本の良いところ、アジアの良いところを生かすような街づくりをしていきたいと思っています。

多くの仲間たちとの出会い 2000年国体

司会 仲間との連帯感、仲間と喜びを分かち合えるといえは、昨年の2000年国体も大きな意義があったのではないですか。

知事 そうですね。昨年の「2000年とやま国体」と「きらりんびつ富山」は、大きな成功を収めることができました。とくに競技の面では、男女総合優勝と女子総合優勝を果たし、天皇杯、皇后杯を獲得することができました。これは、県民の皆さんが力を合わせて努力し、頑張った成果の表れであり、県民の勝利、県民の成功と思っています。

長尾 大学からも多くの学生が大会運営などのボランティア活動に参加しましたが、参加する前後では、大きな変化があったように思います。例えば、地域の活性化を図るため、フリークポケット(運営:(株)まちづくりとやま)が立ち上げた店舗で、素人の若い起業家がプロの商店主として育成し、中央通り商店街に独立開業させるのがねらい。平成九年七月のオープン以来、四十七店が入店し、そのうち三十店が独立している。



昨年の「2000年とやま国体」では、富山県選手団が大活躍。応援やボランティア活動などを通して、多くの県民の皆さんが参加した。

長尾 大学では、人材育成の面で地域づくりに貢献していきたいと思っています。地域学部にある地域研究交流センターで、地域に存在する様々な現実の問題に取り組んで、いろんな提案をしていきたいと考えています。

知事 県では、二十一世紀初頭の富山県民新世紀計画を策定し、これを着実に実行することになっています。この計画では、「人材」、「生活」、「環境」、「産業」、「国際」の「五つの立県構想」が示されており、この構想のもとに、富山県の発展や県民の福祉向上に一生懸命に取り組んでいきたいと思っています。そして、水と緑といのちが輝く元気とやまをめざして、県民の皆さんと一緒に力一杯頑張っていきたいと考えています。

今年、巳年。まさに躍動の年です。富山県が大きく飛躍、言うなれば「スーパージャンプ」をする年となりますよう心から願っております。

司会 今日は、ありがとうございました。

この対談は、一月二日にチューリップテレビで放送されたものを要約したものです。



司会/チューリップテレビアナウンサー 柳下 詩織

北陸新幹線がやって来る

—長野・富山間のフル規格整備決定—

北陸新幹線の長野・富山間が、12年強後にフル規格で整備されることになりました。開業すれば富山と東京が約2時間で結ばれることになります。

<北陸新幹線の概要>

- 区間/東京～大阪間
- 総延長/約690km
(うち東京～高崎間約105kmは上越新幹線と共用)
- 設計最高速度/260km/h
- 沿線人口/約4,000万人(平成7年国勢調査)
- 所要時間/東京まで 2時間7分
大阪まで 1時間20分

これまでの動き

- 昭和42年12月 北回り新幹線建設促進同盟会結成(昭和47年7月 北陸新幹線建設促進同盟会に名称変更)
- 昭和45年 5月 全国新幹線鉄道整備法公布
- 昭和47年 6月 基本計画決定
- 昭和48年11月 整備計画決定及び建設の指示
- 昭和49年 7月 日本鉄道建設公団富山新幹線建設準備事務所設置
- 昭和57年 3月 環境影響評価報告書案の公表(高崎～小松間372km)
- 昭和58年10月 富山、長野、金沢市内に北陸新幹線着工準備作業所開設
- 昭和60年12月 高崎・小松間の工事実施計画認可申請
- 昭和61年 3月 長野、富山及び金沢の三駅において北陸新幹線駅周辺環境整備事業着手
- 昭和62年10月 環境影響評価報告書案公表(小松～南越間68km)
- 昭和63年 8月 政府・与党申合せ(着工優先区間などを決定)
- 平成 元年 8月 高崎・軽井沢間着工(標準軌新線)
- 平成 3年 9月 軽井沢・長野間着工(標準軌新線)
- 平成 4年 4月 ルート調整に伴う環境影響調査報告書案公表(新高岡～金沢間約40km)
- 平成 4年 8月 小矢部市・金沢間着工(新幹線鉄道規格新線)
- 平成 5年10月 糸魚川市内・魚津市間着工(新幹線鉄道規格新線)
- 平成 7年 5月 北陸新幹線富山駅整備調整事業起工
- 平成 8年 3月 環境影響評価実施のためのルート公表(南越～敦賀間)
小松・南越間の工事実施計画認可申請
- 平成 8年12月 政府与党合意(新たな財源スキーム、新規着工区間など決定)
- 平成 9年 5月 全国新幹線鉄道整備法改正
- 平成 9年10月 高崎・長野間開業
- 平成10年 1月 政府・与党整備新幹線検討委員会検討結果公表(新規着工区間の優先順位決定など)
- 平成10年 3月 長野・上越間着工
- 平成10年11月 政府・与党申合せ(新規着工区間事業費抑制方針を解除)
- 平成12年12月 政府・与党申合せ(長野・富山間を12年強後にフル規格で完成をめざすことなど)



写真はイメージ写真です。



長野・富山間に関する合意内容

既にスーパー特急方式で着工されている「糸魚川・新黒部間」がフル規格に変更されるとともに、未着工区間である「上越・糸魚川間」及び「新黒部・富山間」が新たな着工区間とされました。このことで、長野・富山間がすべてフル規格により整備されることになりました。同区間の整備は、今後概ね十二年強後の完成をめざして取り組まれることとなります。

スーパー特急方式がフル規格に変更され、完成時期が具体的な数字で表現されたことは、大きな前進であるといえます。また、完成の見通しが明らかになったことで、沿線の各地域では、駅を中心とした新たな都市開発を計画的に進めることができます。

今後の取り組み

富山以西の早期着工

このたびの検討委員会においては、工事実施計画の認可申請が出されている南越までの一括認可はなりませんでしたが、今後とも、一日も早い全線整備を目指し、富山以西のさらなる延伸に取り組んでいきます。

並行在来線の第三セクター化

並行在来線(北陸本線)については、新幹線開業後にJRの経営から分離されることになっています。県では、通勤・通学など県民生活の足を確保するため、第三セクターで存続することとしています。今後、開業時期を視野に入れ、沿線各県と連携しながら、沿線市町村や経済界などの協力を得て、JR西日本と並行在来線のあり方を検討協議していく必要があると考えています。

長野・富山間のフル規格整備が決定

北陸新幹線の長野・富山間のフル規格での整備が、平成十二年十二月十八日に開かれた政府・与党整備新幹線検討委員会で合意されました。合意内容は具体的には次のようなものです。

北陸新幹線の効果

大きな経済効果

沿線地域の開発や振興による大きな経済波及効果が見込まれます。長野・南越間が開業した場合、七年間で総生産が約三兆円増加するものと推計されています。

格段に広がる行動圏と利便性の向上

時間短縮効果により、首都圏での滞在可能時間が大幅に増えることや冬期においても雪の影響を受けにくく、定時に目的地に到着できることなど、利便性が大幅に向上します。

優れた地球温暖化抑制効果と安全性

鉄道は、他の輸送機関に比べて省エネルギーに貢献するだけでなく、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量が少ないという特長があります。また、北陸新幹線全線が開業した場合、十キロメートル走行する自動車を毎日四〜五万台削減する程度の効果が見込まれます。さらに、事故が少なく、安全な乗り物です。

優れた収支改善効果

長野・南越間をフル規格で延伸した場合、十分な需要が見込めることから、開業後十〜二十年が経過した時点で、年間約三百〜四百五十億円の収支改善効果もたらされます。

全線整備に向けて

環日本海時代を迎え、北陸新幹線の整備は、日本海国土軸の形成や国土の均衡ある発展に不可欠であり、また、広範囲にわたり人・物・情報等の交流を活発にし、沿線地域に飛躍的な発展をもたらす極めて効果的な国家プロジェクトです。

県では、北陸新幹線の全線整備に向けて、県議会、県内市町村をはじめ、沿線各県や経済団体と一丸となって、政府等関係機関に対し、強力な運動を展開してまいります。

●問合せ・ご意見は、
県庁新幹線交通政策課まで
☎076(444)3124



毎年、雪の女王コンテストなどが行われ、大勢の人でにぎわう「らいちょうパレー雪の祭典」。(今年は2月11・12日)

らいちょうパレースキー場

昭和52年、県営 Gondras スキー場としてオープン。平成4年より、「らいちょうパレースキー場」の愛称で親しまれている。 Gondralift は、年間を通して運転しており、パラグライダーなどのスポーツや季節ごとのパノラマを楽しむことができる。周辺にはキャンプやレクリエーションなどに利用できる施設もあり、フルシーズン活用できる自然のリゾートゾーンとなっている。

営業時間/3月4日まで午前8時30分～午後9時(土・祝前日は午後11時まで)
3月5日から午前8時30分～午後5時(金・土・日・祝日は午後9時まで)
いずれも土・日・祝日は午前8時から、ナイターは午後5時から
救護所/ Gondralift 山麓駅、パトロール常駐
駐車場/ グレンデ周辺(3カ所) 1,400台
平日は無料、土・日・祝日は1日500円
問合せ/らいちょうパレー管理事務所
☎076(481)1633

共通リフト券

	中学生以上	小学生以下
1日券	4,200円	2,700円
2日券	7,600円	4,800円
半日券	3,000円	1,900円
ナイター券	2,300円	1,500円

今年からデイトタイム券(午前10時～午後3時)、サンセットナイター券(午後3時～午後9時)も販売しています。(いずれも料金は半日券と同額)

- 公共交通機関で
富山地方鉄道立山駅からバスで約10分
- 自家用車で
北陸自動車道立山ICから約40分



ナイター照明にきらめくコートピアグレンデ。平日でも気軽に滑りを楽しめる。



立山山麓家族旅行村のケビン。別荘感覚で休日をエンジョイできる。



山野スポーツセンターでは、体育館や運動広場が利用できる。宿泊も可能。



雄大な山々を向こうに、パノラマコースをスタート。全長2500mのロングダウンヒルが待っている。



全長120mあるハーフパイプでは、スノーボードの醍醐味を満喫。



Gondraliftで標高1188mの山頂駅へ。所要時間は約8分。眺望も楽しみのひとつ。



パラダイスグレンデは、標高が高いため雪質もよく、広いコース幅で自分のペースで滑れる。



滑りを楽しんだらレストハウスでひと休み。人気メニューもいろいろ。



コートピアグレンデは、初級者でも安心して楽しめる。小さなスキーヤーやボーダーたちも雪を満喫。

冬の楽しさを思い切り味わおう。
広がるパノラマに心も爽快。
四人乗り Gondralift で快適。誰もが楽しめる雪のステージ。

らいちょうパレースキー場

立山山麓へのアクセスがより快適に

立山連峰の麓に位置する「らいちょうパレースキー場」は、隣接する極楽坂スキー場、あわすのスキー場とともに、「立山山麓スキー場」として北陸でもトップクラスのスケールをもつ。毎年、多くのウィンタースポーツファンでにぎわうが、一昨年、立山大橋が開通して、交通アクセスもより快適になった。

今まさに、ウィンターシーズン真っ盛り。スキーやスノーボードなど、楽しみ方も多彩になってきている。らいちょうパレーには、上級者から初級者まで幅広く楽しめるグレンデや設備が揃っている。冬ならではの楽しみを全身で体験しに行こう。

Gondraliftで一気に山頂へ

らいちょうパレーの顔ともいえるのが Gondralift。Gondralift 山頂駅まで高低差六百二十八メートルを約八分で運んでくれる。晴れた日には眼下に富山平野を一望でき、日本海までも見渡せる。

ここから上・中級者向けのパラダイスグレンデと、上級者向けパノラマコースへと滑走していきける。また、この上部で極楽坂スキー場と接続しており、双方に滑り込みができる。共通リフト券が発売されているので、楽

しさも倍増する。

パラダイスグレンデは、広大な一枚バーンで、平均斜度十六度。モーグル派が楽しめるコブ斜面もある。

パノラマコースは、尾根沿いに滑る難度の高いコース。狭い急斜面があり、上級者でないとは滑走は難しい。初級者やファミリーは、ゆるやかな斜面のユートピアグレンデでゆったりと楽しめる。子どもたちもスキーやボードに懸命に取り組み、時折歓声があがる。雪と遊ぶ楽しさに、誰もが同じように魅せられている。

もっと楽しく雪と遊ぶ

らいちょうパレーでは、昨シーズンから、ハーフパイプを設置。長野オリンピックで正式競技になったこともあり、ボーダーたちの人気も高い。半筒形の雪のなかでは、思い思いの技が繰り広げられている。

ユートピアグレンデはナイター営業も行っている。ロマンティックな照明のなかで滑るのも楽しい。周辺には宿泊施設なども充実しており、ゆっくりと冬の休日を満喫することもできる。また、シーズン中は多彩なイベントや、モーグル、ボードなどの大会が開催される予定になっている。

楽しむジャンルも多様化し、スキー場はますます面白くなっている。これからはもっとと雪と遊べるようになるに違いない。

県政モニター募集

県政に関するアンケートに回答していただくとともに、県政全般についての意見、要望などを随時提言していただく県政モニターを募集しています。

- 募集人員 100名程度
- 任期 今年4月から2年間
- 応募資格 県内在住の20歳以上の方
※公職選挙法による公職者、公務員、過去2年以内の県政モニター経験者を除く
- 応募方法 ハガキに右のとおり記載し、県庁広報課までお送りください。

募集締切 2月28日(水) 当日消印有効

問合せ 県庁広報課
☎076(444)3133

<p>●ハガキ表面</p> <p>切手 50円</p> <p>9308501</p> <p>富山県庁広報課</p> <p>(住所記載不要)</p> <p>応募者の住所 氏名(ふりがな) 生年月日、電話番号</p>	<p>●ハガキ裏面</p> <p>●職業区分 ①農林・漁業 ②建設・製造業 ③サービス・自由業 ④家事 ⑤無職</p> <p>●各種モニター経験の有無および内容 (例・〇〇年度△△モニター)</p> <p>●県政モニター応募の抱負 (50字程度)</p>
--	---

とやま棚田シンポジウム開催

- テーマ 「棚田～先人の遺産～その保全を考える」
棚田の役割や保全について、いっしょに考えてみませんか。
- 日時 2月15日(木) 午後1時30分～4時30分
会場 富山市民プラザ アンサンブルホール
入場料 無料
- 内容 ●基調講演「棚田の現状とその役割」
早稲田大学教育学部教授 中島 峰広
(棚田学会副会長・日本の棚田百選認定委員)
- パネルディスカッション
コーディネーター/広瀬慎一(富山県立大学教授)
パネリスト/木和田 勝(氷見市長坂区長)
中谷 信一(利賀村産業振興課長)
高野 光世(棚田支援市民ネットワーク)
中島 峰広
- 問合せ 県庁企画管理課 ☎076(444)9011
富山県農業公社 ☎076(441)6166 内線371

職業能力開発センター 13年度6ヶ月コース(4～9月)入所生募集

- 富山職業能力開発センター ☎076(451)3504
- 科目・定員/エクステリア造園科、インテリア科、配管設備科、情報ビジネス科 各20名
 - 募集期間/2月13日(火)～28日(水)
※ほか1年コース・金属加工科もあります
- 黒部職業能力開発センター ☎0765(52)0251
- 科目・定員/住宅サービス科 30名、情報ビジネス科 20名
 - 募集期間/2月2日(金)～3月2日(金)
※ほか2ヶ月コース・造園科もあります
- 福野職業能力開発センター ☎0763(22)3152
- 科目・定員/木材工芸科 20名、情報ビジネス科 10名
 - 募集期間/2月20日(火)～3月13日(火)
※ほか2ヶ月コース・介護サービス科もあります
- 問合せ 各職業能力開発センター

生涯学習ボランティアサミット開催

- テーマ 「生涯学習ボランティア活動とコーディネート役割」
学校・公民館・生涯学習施設から多彩なパネリストを招き、さまざまな生涯学習機関がどのようにボランティア活動を支援し、人々の希望に応えようとしているかを学びます。
- 日時・会場 2月22日(木) 午後2時～4時30分
高岡市ふれあい福祉センター
2月23日(金) 午後2時～4時30分
県教育文化会館
- 対象 生涯学習ボランティア活動に携わっている方や関心のある方
- 参加料 無料
- 申込み・問合せ 県生涯学習カレッジ学習振興課
☎076(441)8635 内線231

「IT講習」が始まります!

パソコンやインターネットが気軽に使えるよう、初心者の方を対象にIT(情報通信技術)講習をはじめます。

講習内容	パソコンの基本操作 ・日本語の入力と簡単な文書の作成 ・インターネットの利用 ・電子メールの送受信 など
講習場所	富山県情報工房をはじめ、県内各市町村の小学校・中学校・高等学校・大学・短期大学・専修学校などの学校や、公民館、郵便局など
対象者	満20歳以上のパソコン初心者
受講料	無料(テキスト代等は実費)

※申し込みの方法や開催場所については、県庁情報企画課または市役所・町村役場にお問い合わせください。

●問合せ 県庁情報企画課 ☎076(444)3116

夫婦で力を合わせて 花のある喜びを広めたい



とやまの やる気・元気

夫婦で花苗のハウス栽培に取り組む

いしくろひろあき えみこ 石黒宏明さん・笑子さん

大沢野町在住

石黒宏明さん(41歳)と笑子さん(33歳)夫妻は、大沢野町で水田耕作と花苗を中心としたハウス園芸栽培を手がける専業農家。高校で花栽培を専攻した宏明さんが、ハウス経営をスタートさせて20年。園芸栽培の分野ではまだ若手ながら、夫婦一緒に力を合わせて、4棟のハウス(約1,000平方メートル)に、四季折々の花を咲かせている。

ゼロからスタートしたハウス経営

サクラソウが可憐な花をほころばせ、一足先に春が訪れたようなハウスの中。やがて、サルビア、マリィゴールド、ペコニアといった夏花壇用の花苗が取って変わり、秋からは、パンジー、キク、シクラメン。石黒さんのハウスでは、一年を通して、三十〜四十種類もの花々が栽培されている。

農家に生まれた宏明さんだが、進路の選択にあたっては、会社勤めも考えたという。しかし、高校で学んだ花栽培を生かしたいという思いの

方が強く、園芸農家で二年間研修を積んだ後に、一棟のハウスからスタートした。

設備投資に多額な資金がかかるハウス経営だが、近年、花苗の需要が伸びたことに伴って、二棟目、三棟目と増設。現在は四棟、約千平方メートルまでに拡大した。その順調な経過には、宏明さんをサポートしてきた笑子さんの存在も大きい。

ハウスの仕事は三百六十五日

二人は十年前に友人の紹介で知り合って結婚した。笑子さんにとって農業は未知の世界であり、世間では3Kのイメージが強かった。そのため結婚後もしばらくは会社勤めを続け、農業に専念する決心がでなかつたという。

そんな笑子さんでも今は、「田んぼの仕事はラクですよ。機械に乗ってかたければ、機械がやってくれますから(笑)」と言っている。その頼もしさ。しかしそれは、ハウスの仕事の大変さの裏返しともいえる。

作業のほとんどが手仕事であり、温度管理や水やりのために、一日も欠かすことなくハウスを見回らなければならぬ。石黒さんのように、一年間ハウスを稼働させている場合、休日にはゼロ。家族旅行も楽しめないのが現実だ。

花のある情景の楽しさを励みに

「サラリーマンの方がよかったですね」と言って笑い合う石黒さん夫妻だが、花栽培への情熱が消えることはなかった。作業の大変さに加え、採算が合わないときには、丹精込めて育てていた花を途中で廃棄しなければならぬときもある。そんななかでも常に前向きに取り組み、昨年の四月からは中央農業高校から研修生を受け入れて、後継者育成の一端も担っている。

「花を贈る人、贈られる人の笑顔や、花壇づくりをする子供たちの楽しい様子を思い浮かべながら花を育てるのはうれしいことです」と話す石黒さん夫妻。

富山の気候風土に合った栽培方法を追究しながら、美しい花づくりをめざす二人三脚はまだ続く。




中央農業高校の研修生を指導する笑子さん

近代美術館
富山市西中野町1-16
TEL: 076(421)7111

トライ・アート2001 夢中人ワールド
[2/12(月)まで]
県内の小・中学生が共同で制作した創造性あふれる作品など、約30点を展示しているほか、現代美術を鑑賞するコーナーなど多彩な催しをしています。
一般 300円/高・大 200円/小・中 150円


2/13~3/31は館内改修工事のため臨時休館
9:30~17:00
月曜・祝日の翌日(2/12は開館)、
常設展示観覧料
一般 200円 高・大 160円 小・中 100円



立山博物館
立山町高野寺93-1
TEL: 076(481)1216

チベットマンダラ恒例展
[2/17(土)~3/18(日)]
当館収蔵のチベットマンダラを展示し、現代にも生きる英知「マンダラ」の考え方を紹介します。
まんだら遊苑は3/31まで休苑です。

9:30~17:00
月曜・祝日の翌日(2/12は開館)、2/13
展示館 一般 300円 高・大 240円 小・中 150円
展望館 一般 100円 高・大 80円 小・中 50円




こどもみらい館
小杉町黒河(太閤山ランド内)
TEL: 076(656)9000

パペットストリート
[2/18(日)・24(土)・3/4(日) 13:30~14:30]
プロの人形劇団による、人形劇の上演を行います。
演目/やまんばきりや、おさるのかごや 他
無料

[2/25(日) 12:30~17:00]
人形作りのワークショップを行います。
参加費 300円

9:30~17:00
火曜・第4水曜・祝日の翌日
入館無料




中央植物園
城中町上柳田42
TEL: 076(466)4187

企画展示「平成12年度研究展」
[2/16(金)~2/28(水)]
中央植物園で行っている調査・研究活動の内容をパネルで紹介いたします。

企画展示「私の植物画展」
[3/2(金)~3/28(水)]
一般から募集した植物画を展示します。


9:00~17:30
木曜・祝日の翌日(2/12は開園)、2/13
一般 600円 小・中 300円



高岡文化ホール
高岡市川園町13-1
TEL: 076(25)4141

ルーマニア室内管弦楽団
「トランシルヴァニア・ヴィルトゥオーゾ」
[3/2(金) 19:00~]
ラテンの情熱あふれるルーマニアの室内オーケストラが古典から現代まで幅広いプログラムを演奏します。

指揮/曾我大介
曲目/バルトーク: ルーマニア民族舞曲
チャイコフスキー: 弦楽セレナーデ ほか
一般 5,000円(当日5,500円)




花総合センター
砺波市高道46-3
TEL: 076(63)1187

早春を彩る花まつり
[2/23(金)~25(日)]
春の球根草花・花木・ランをメインの花材に使用し、春を先取りした花々を展示します。

講習会「球根草花を使った寄せ植え」
[2/24(土)・25(日) 10:00~14:00~]
要申込 教材費1,500円(予定)

9:00~16:30
火曜
入館無料




水墨美術館
富山市五福7-7
TEL: 076(431)3719

館藏品展
[2/18(日)まで]
一般 300円/高・大 200円/小・中 150円

バリ展帰国記念 下田義寛展
[2/23(金)~3/25(日)]
滑川市出身の日本画家、下田義寛氏のバリ風景画、院展出品作品など56点を展示します。
一般 1,000円/高・大 600円/小・中 300円

9:30~17:00 月曜・祝日の翌日
(2/12は開館)、2/13、2/27
常設展示観覧料(展示室以外は無料)
一般 200円 高・大 160円 小・中 100円




立山カルデラ砂防博物館
富山地方鉄道立山駅前
TEL: 076(481)1160

フィールドウォッチング
「立山の雪を体験しよう」
[2/18(日) 13:30~16:00]
雪の結晶づくりに挑戦したり、博物館周辺に降り積もった雪の層を観察したりします。
要申込 小学3年生以上 参加無料

写真展「自然に学ぶ」
[3/10(土)~4/1(日)] 無料

9:30~17:00
月曜・祝日の翌日(2/12は開館)、2/13
常設展示観覧料
一般 400円 高・大 320円 小・中 200円




県民公園太閤山ランド
小杉町黒河47-4-16
TEL: 076(656)6116

冬の親子ふれあい大会
[2/12(月) 9:00~13:00] 要申込
frisbee、バランスゲームなど、親子で楽しめるいろんなゲームをします。
参加費(おにぎり)と豚汁付き
一般 600円/小学生以下 400円

三世代交流ニュースポーツ・ゲーム大会
[3/25(日) 13:00~15:30] 要申込
参加費 一般 200円/小学生以下 100円

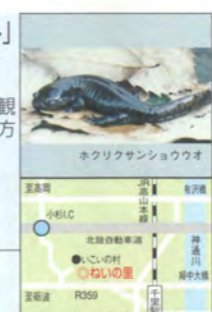
9:00~17:00
火曜・祝日の翌日(2/12は開園)
入園無料(駐車料金は3月まで無料)



自然博物館ねいの里
婦中町吉住1-1
TEL: 076(469)5000

自然観察会「ホクリクサンショウウオとデート」
一富山のいろいろなサンショウウオたち
[3/18(日) 10:00~11:30]
ホクリクサンショウウオの保護・産卵の状況を観察し、絶滅の危機にある生き物の保護の在り方を考えます。
要申込 小学生以上 参加無料


9:00~16:00
火曜・祝日の翌日(2/12は開園)
入園無料



海王丸パーク
新湊市海王町8
TEL: 076(82)0801

帆船海王丸満船節
[2/14(水)]
昭和5年2月14日の進水を記念して国際信写旗で海王丸を飾ります。


帆船海王丸の歩みをたどる 記念の品々と写真展
[2/25(日)まで]
入園自由 帆船海王丸は9:30~16:00
月曜(2/12は乗船可能)・祝日の翌日・2/13
2/26~3/15は船体整備のため乗船不可
一般 400円 小・中 200円



利賀芸術公園
利賀村上百瀬48番地
TEL: 076(68)0008

公共ホール演劇製作ネットワーク事業
「サド侯爵夫人」
[2/10(土)・11(祝)・12(月) 15:00~]
サディズムの語源ともなった侯爵、サド。舞台上には登場しないこのひとりの男をめぐる6人の女性の物語を上演します。

原作/三島由紀夫
総合プロデューサー/鈴木忠志
キャスト/夏木マリ 他
一般 3,000円



編集後記

▼この号を編集しているころ、一時まとまった雪が降りました。昨年は、この時期雪不足で、スキー場も客入りが悪かったようですが、今年は当分安心ですね。今冬の週末はスキー場通いをしてみようかと思えます。皆さんいかがですか。県政クイズのプレゼントも利用していただければ...

県広報とやまの各世帯配布版は、新聞折込で各家庭にお届けします。また、通常版は、次の場所で無料配布するほか、郵送による定期購読も受け付けています。

主な配布箇所
県庁、県刊行物センター(県民会館1階)、県の各施設、市町村役場、図書館、文化ホール、公共温泉施設、主なショッピングセンター、いきいきKAN(富山駅前C1C5階)、JR駅(一部)、富山空港、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所

定期購読の申込方法
郵便番号・住所・氏名・電話番号・購読回数(通常版の回数)を明記し、郵送料として1回当たり160円分の切手を同封のうえお申し込みください。
※購読期間中は、通常版・各世帯配布版の両方を郵送しますが、郵送料の負担は通常版の分だけで結構です。
あて先
〒930-8501(住所不要) 富山県庁広報課
「県広報とやま」定期購読係

8月号プレゼント当選者
■深層水ミネラルウォーター
竹原由紀恵さん(富山市)、早風美智子さん(富山市)、小松信久さん(氷見市)、高橋通泰さん(横浜市)、大川昭恵さん(福野町)
正解は「清浄性」でした。

10・11月号プレゼント当選者
■2000年国体スポーツタオル
船山智子さん(富山市)、江尻和久さん(富山市)、杉本陵子さん(富山市)、永井史朗さん(高岡市)、樽水利恵さん(氷見市)、荒木幸夫さん(滑川市)、高橋弘美さん(砺波市)、上島晴香さん(入善町)、三浦智美さん(小杉町)、小松保子さん(福野町)
正解は「1」でした。

県政クイズ 応募お待ちしております。

中心市街地の活性化を図るために立ち上げた、富山市中央通りの「ミニ・チャレンジショップ」は何というでしょうか。
「フリーク○○○○」とお答えください。

→答えは特集を読めばわかります。

3月号(通常版)は3月上旬発行予定です。

県政ミニガイド

既存宅地制度が廃止されます

都市計画法の改正に伴い、これまで市街化調整区域で認められていた*既存宅地制度が廃止され、今年春に予定される法律の施行の日(平成13年5月18日までの間で、政令で定める日)以降は許可を受けなければ建築物の新築などができなくなります。

ただし、改正法の施行日前に既存宅地の確認を受けた場合には、自己用の建築物に限り、改正法の施行日から5年間は従来どおり許可を受けずに建築できます。

ご質問・ご相談等のある方は下記の機関へお問合せください。

対象となる市町村

富山市、高岡市、新湊市、婦中町、小杉町、大門町、大島町、下村

※既存宅地制度とは

市街化調整区域では、建築行為等が制限されており、建物などを建築するには許可が必要です。ただし、集落内またはその周辺の土地で、市街化調整区域が決定される前から宅地であったことが確認できる土地では、許可を受けずに建物などを建築できることとされていた制度です。(ただし、建築に際しては建築確認が必要です。)

●問合せ先

お住まいの地域の市役所、町村役場または、
県庁建築住宅課 ☎ 076(444)3359
富山土木事務所建築課 ☎ 076(441)2511
高岡土木事務所建築課 ☎ 0766(21)9411

とやまの情報お伝えします! [2月の県政番組]

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ
毎週日曜 11:00~11:30

4日 とやまの公営企業
11日 ふるさと探訪 ~婦中町~
18日 花と緑に親しもう!
25日 ITの推進

富山見たモン勝ち チューリップテレビ
第4日曜 10:00~10:52

2月の放送はお休みします。次回の放送は3月25日です。

とやま県聞録 FMとやま
毎週月曜~木曜 11:30~11:40
毎週土曜 11:30~11:55

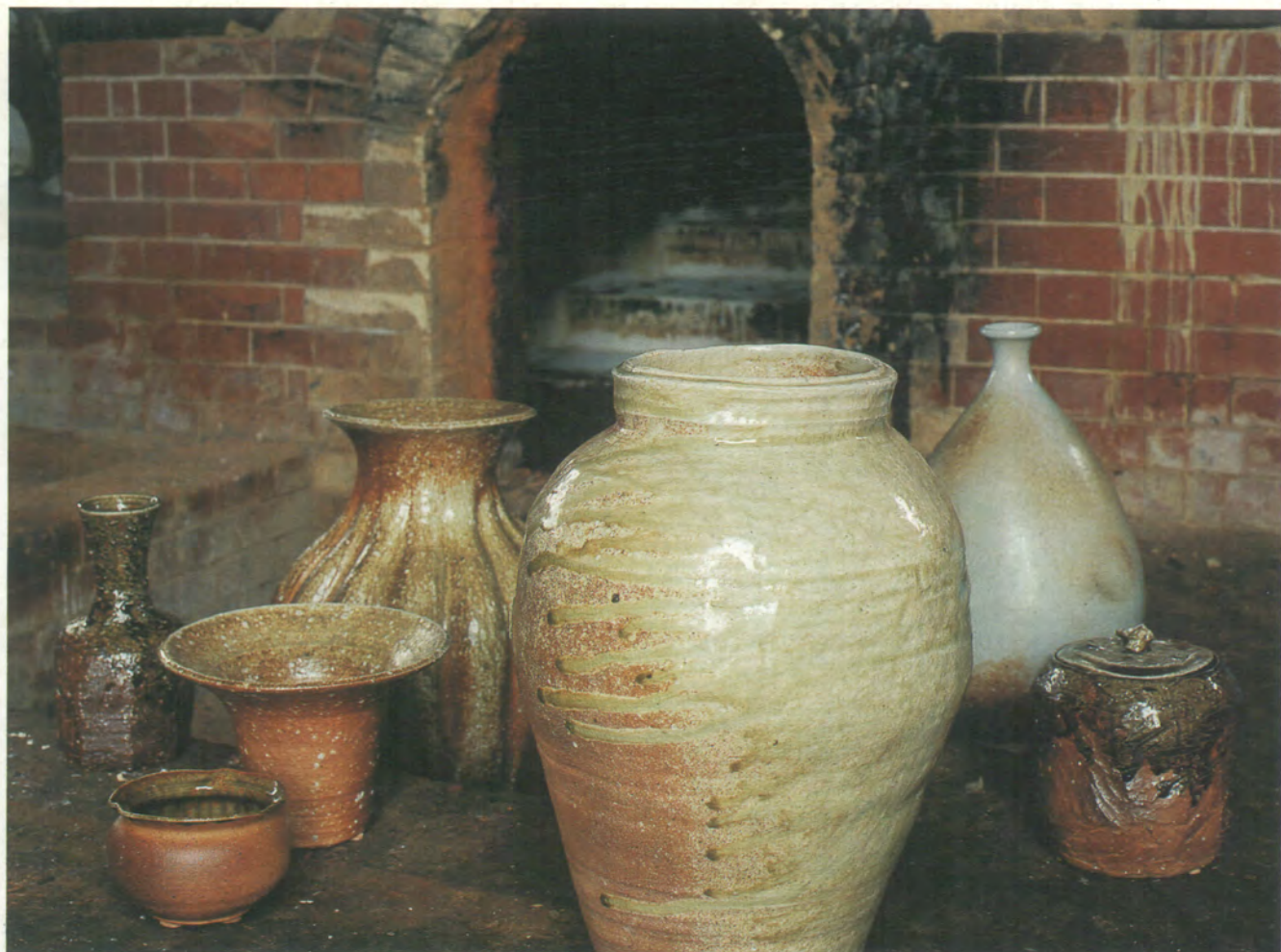
とやま超発見! 富山テレビ
フォーカス・イン2 毎週日曜 9:00~9:30

4日 冬の行楽スポット
11日 IT富山版
18日 暮らしの知恵
25日 コレクション

このほか、新聞広報やインターネットでも
県政情報をお伝えしています。

■新聞広報「県からのお知らせ」
2月3・17日の朝刊各紙に掲載予定
■富山県ホームページ
http://www.pref.toyama.jp/





とやま 音のある 風景

力強い火を受けて、
澄んだ調べを奏でる。

Vol.30

匠の里の焼き物の冷える音
●大門町

窯のなかの温度は、約千三百度。灼熱の空間で、自然の摂理が時を刻む。火に耐えるもの、溶けゆくもの、変化するもの。半日から数日火は燃え続ける。頃合いをみて火を止め、時間をかけてゆっくりと温度を下げたあと、窯の扉が開けられる。自然が創り出した色合いや艶をまとった、壺や花器などが運び出される。

チリリ、チンチン。外気に冷やされ、焼き物が澄んだ音をたてる。ガラスを弾くような微かな音色。それは、新しい生命の産声のようでもある。

大門町水戸田にある陶房「匠の里」。ここでは、誰でも陶芸の楽しさを体験することが出来る。作り手の思い思いの造形が窯に入れられ、同じものはふたつとない作品が生まれている。

この辺りでは上質の粘土が採掘でき、古くから窯業地として栄えてきた。古墳時代後期の登窯も発見されている。水戸田の瓦は、長く伝統産業として受け継がれてきた。

焼き物の技が息づく「匠の里」。土を素手でこね、成形し、乾燥したあと素焼き、本焼きと、陶芸はいくつもの過程を経る。何日もかけて育み、最後は火にゆだねる。自然の力との対話を続け、人は創る喜びと自然の温もりをその手にしっかりと受け止める。

※県内五十箇所の「とやまの音風景」を収録したCDは市町村図書館などにも聴きになれます。